

浜松市立広沢小学校 活動実践報告

① 広沢小学校研究主題

「共に高め合い自ら学び続ける子供の育成」

② 課題

昨年度の研修の反省から、「自己の変化を次の学びにつないでいく仕掛けをしたい。」と考え、それを受け本校外国語活動部においては、「自己の変容、他者理解を味わせる振り返りの時間をいかに充実させるか」を課題とした。

③ 活動実践内容

5年 L7 単元名 大切なもの、すてきだね！

(What' s this?クイズ大会をしよう) 5時間扱い

(1) 自己との交流の場と時間の設定

- ・活動を通して新たに分かった友達の一面や、自分のことを認めてくれる友達がいることを実感できるようにする。
- ・ワークシートによる振り返りの場を、時間の終盤に十分に設定する。
- ・リラックスした状態で自己の変容や、友達に関する新たな気づきを記入できるように静かな音楽を流す。
- ・今まで知らなかった友達の一面を知ること、友達のことをさらによく知りたいという意欲をもった児童の振り返りを紹介し、全体の場で称揚することで、温かな友達理解や関わりをもてるようにする。
- ・振り返りカードに何を書いてよいかわからなかった児童には、振り返りのポイントの3点（活用した英語表現や異文化などについての気づき、コミュニケーション活動を通して感じた友達に関する新たな発見、今後の活動でさらに取り組んでみたいこと）を伝え、そのことについて書ける支援する。

(2) 成果（児童の振り返りカードに書かれた言葉より）

- ・「アルファベットは、1つのときと、いろいろなアルファベットが集まったときとでは、読み方が違った。」・・・活用した英語表現について気付いたことを自分の言葉で振り返ることができた。
- ・「〇〇君が積極的にアルファベットカードを集めていた。まねしたい。」
・・・コミュニケーション活動を通して感じた友達に関する新たな発見について振り返りカードに書くことができた。
- ・「今日書いたアルファベットをどうやって読むのかレベッカ先生に聞いてみたい。」・・・今後の活動でさらに取り組んでみたいことについて書き、次に時間への意欲をもつことができた。

(3) 課題

- 時間を最低でも5分確保しないと、十分自己と交流し、充実した振り返りにはならない。そのために担任自身が、本時で児童に付けたい力を何とするを明確にし、そこまで行き着く活動の内容を精選する必要があると思う。